

# 国立循環器病研究センター薬剤師レジデント募集要項

国立循環器病研究センターでは心臓、脳、腎臓、周産期、代謝など、種々の循環器疾患患者に対し、内科的、外科的治療がなされています。薬剤部では、循環器疾患の薬物療法に精通した薬剤師の育成を目的として、2年間の薬剤師レジデント制度を導入しています。平成22年4月より開始された当制度では、平成29年3月までに8名がプログラムを終了し、現在2名が研修中です。循環器疾患の薬物療法に精通し、将来この分野においてリーダーとなりうる人材を育成することを目標としており、また、臨床研究業務に取り組むことができる能力を養います。

## 内容

指導薬剤師（※下記：主な認定資格者参照）のもとに薬剤基本業務・臨床研究業務を行います。薬剤基本業務では、薬剤師として基本的な知識・手技を学ぶと同時に、病棟業務やチーム医療（ICT、NST、褥瘡対策、緩和等）へ参画します。臨床研究業務では、研究テーマを決め、学会発表や論文投稿を行います。

詳細は下記および薬剤部ホームページをご覧ください。

## 薬剤基本業務

- 内服薬・注射薬の調剤業務
- DI業務（医薬品の情報収集・他職種への情報提供）
- 製剤業務（院内製剤・特殊製剤の調製）
- TDM業務（薬物血中濃度測定とその評価）
- 病棟業務（各循環器疾患病棟での業務、患者向け勉強会への参画）
- チーム医療業務（感染対策チーム：ICT、栄養管理対策チーム：NST、褥瘡対策チーム、緩和チーム、医師主催の病棟カンファレンスへの参加）
- 治験管理業務（治験管理薬剤の調剤、治験コーディネーター業務） など

研修期間全体を通して、薬剤師としての基本業務を幅広く学びます。

【年間スケジュール】

	1年目(4月~3月)												2年目(4月~3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
オリエンテーション																								
<b>薬剤基本業務</b>																								
調剤・注射業務																								
医薬品管理業務																								
製剤業務*1																								
医薬品情報管理業務																								
試験検査業務(TDM)																								
治験管理業務																								
<b>薬剤管理指導業務</b>																								
病棟業務*2																								
チーム医療への参画																								
<b>臨床・研究業務</b>																								
臨床研究																								
部内・学会発表・論文投稿等																								
<b>その他</b>																								
教室(患者教育)																								
医療安全(副作用・アラート)																								
実習生指導																								
薬剤部研修会(センター内含む)																								

\*1 院内製剤調製・高カロリー輸液調製を含む  
 \*2 2年修了時まで心臓血管内科部門、心臓血管外科部門、脳血管部門、小児循環器・周産期部門、移植部門、特殊病棟を約2~6か月ごとにローテーション

【2年目のレジデントの1週間(例)】

	8:30	12:30	13:30	17:15
月	医薬品情報	休憩	病棟業務 (心不全病棟)	部内勉強会
火	病棟業務 (特殊病棟)	休憩	病棟業務 多職種カンファレンス参加	
水	調剤業務	休憩	臨床研究業務	
木	病棟業務 (心不全病棟)	休憩	調剤業務	勉強会(外部)
金	病棟業務 (心不全病棟)	休憩	調剤業務	

臨床・研究業務

心臓血管内科・脳血管内科など、各診療部の患者に対して薬物療法の評価・副作用モニタリングなどの薬学的管理を行い、代表的な疾患に関する薬物療法を修得します。

また、ICTによる抗菌薬の投与設計や、NSTによる栄養輸液に関する処方提案、TDMをもとにした循環器疾患治療薬の投与設計に関与します。

これらの業務をもとにテーマを定めて研究を行い、学会発表等を行います。

## 研修方法のサポート、記録および評価

- 研修責任者（プリセプター）が、各年の達成状況を確認します。
- プリセプターが、研修期間中の研修および業務を多面的にサポートします。
- プリセプターが、年間スケジュールを組みます。また、各レジデントの進捗状況を鑑みて毎月のプログラムの調整を行います。

## 認定施設

- 日本医療薬学会研修施設
- 日本薬剤師研修センター実務研修生受入施設
- 薬物療法専門薬剤師研修施設

## 主な認定資格者（平成 29 年 4 月現在）

- 認定指導薬剤師（日本医療薬学会）：1 名
- 認定薬剤師（日本医療薬学会）：3 名
- NST 専門療養士（日本経腸栄養学会）：3 名
- 日本糖尿病療養指導士：2 名
- 感染制御専門薬剤師（日本病院薬剤師会）：1 名
- 感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）：1 名
- 抗菌化学療法認定薬剤師（日本化学療法学会）：1 名
- 認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）：7 名
- 小児薬物療法認定薬剤師（日本小児臨床薬理学会）：1 名
- 精神科薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）：1 名

## 資格取得の足掛かりとなるもの

薬物療法専門薬剤師、日本糖尿病療養指導士、NST 専門療養士、感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師、高血圧・循環器病予防療養指導士など（下記、HP もご参照ください。）

[一般社団法人 日本病院薬剤師会](#) HP（薬剤師の認定制度を有する団体一覧）

※平成 25 年 4 月より近畿大学薬学部との連携大学院が設置されました。希望される場合は、薬剤師レジデント試験および近畿大学薬学部大学院試験に合格すれば、働きながら学位取得を目指すことができます（4 年間のレジデントコースとなります）。現在まで 1 名が卒業（神戸学院大学薬学部就職）しております。現在は 3 名が在籍しております。

講座の研究テーマなど、詳しい内容は近畿大学「[循環器薬物療法学講座](#)」のホームページをご覧ください。

## 薬剤師レジデントが関係した業績

[薬剤部ホームページ](#)をご覧ください。

## これまでの進路

レジデント終了後、国立循環器病研究センター、国立病院機構、帝京大学医学部附属病院(帝京大学大学院)、大阪医科大学附属病院など。

## 募集要項

- 募集人数：若干名（現在募集は行っておりません）
- 研修期間：2年間
  - \* ただし最長4年までの延長を認めることがあります。
- 応募資格：薬剤師免許登録者、または採用年の3月に薬学部卒業見込・大学院（修士・博士課程）修了見込みの者
- 勤務形態：非常勤職員
- 給与：時間給1490円
- 保険：社会保険、厚生年金、雇用保険
- 交通費：通勤手当あり（月額55,000円まで）
- 休暇：土日祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

## 薬剤師レジデント制度についての照会先

レジデント制度について詳細を知りたい方、見学を希望される方はこちらよりご連絡ください。

メールアドレス：oitaa8354@ncvc.go.jp

もしくは

TEL 06-6833-5012（代表）、8021（内線）

薬剤部・薬剤部長 老田 章

メールの場合は、以下の内容を記載してください。

- 氏名・連絡先（メールアドレス）
- 現在の所属（大学または職場）
- 見学希望日
- その他記載事項